

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No	①事業名	②事業概要（目的と効果）	③対象	④事業実績（経費内訳）	⑤効果・検証	⑥事業 始期	⑦事業 終期	⑧事業費 （円）	⑨ うち交付金 （円）	⑩3つの重点軸			⑪ 担当課
										感染 拡大 防止	地域 経済 対策	健や かな 日常	
1	小学校校舎網戸整備事業	感染症対策として、小学校では窓を開けて換気の徹底を図っているが、蜂などの虫が侵入し、授業等に支障が生じていることから、網戸を設置し学習環境の改善を図る。	小学校	市内小学校22校に計2,010枚の網戸を設置することができた。	市内小学校に網戸を設置したことにより、いつでも窓を開けて換気を行うことができるようになり、生徒の感染拡大防止を図ることができた。また、生徒の学習環境改善にも繋がった。	R2.12	R4.3	57,008,574	35,272,600	○		○	施設課
2	中学校校舎網戸整備事業	感染症対策として、中学校では窓を開けて換気の徹底を図っているが、蜂などの虫が侵入し、授業等に支障が生じていることから、網戸を設置し学習環境の改善を図る。	中学校	市内中学校15校に計1,128枚の網戸を設置することができた。	市内中学校に網戸を設置したことにより、いつでも窓を開けて換気を行うことができるようになり、生徒の感染拡大防止を図ることができた。また、生徒の学習環境改善にも繋がった。	R2.12	R4.3	26,008,426	17,126,285	○		○	施設課
3	コミュニティ施設感染防止対策事業	施設利用者の感染症拡大防止のため、空気清浄機を設置。	苫小牧市まちなか交流センター（COCOTOMA）	空気清浄機を4台設置した。	空気清浄機を設置することにより、施設利用者及び従事者の感染拡大防止を図ることができた。また、施設利用者の安全安心も確保することができた。	R3.2	R4.3	450,560	450,560	○			未来創造戦略室
4	公共交通事業者等支援事業	市民が安心して公共交通機関等を利用できるよう、利用減により厳しい状況にある公共交通事業者等に対し、車内の衛生的な環境の確保及び今後の事業継続に向けた支援を行う。	市内に営業所がある交通事業者（市内路線バス、タクシー、運転代行事業者）のうち令和2年12月から令和3年3月までの期間のうち、申請日の属する前月までに、ひと月の売上が前年同月比で30%以上減少した月がある事業者	対象となる事業者に対し、基本額15～600万円に加え、車両1台につき1～2万円を給付した。 ・600万円×1者+2万円×92台 ・25万円×7者+1万円×175台 ・15万円×12者+1万円×12台	各事業者が支援金を新型コロナウイルス感染症対策や燃料費などに活用し、事業継続への支援につながった。	R3.3	R3.5	13,260,000	12,684,000	○	○		まちづくり推進課
5	市庁舎感染防止対策事業	市庁舎内の感染防止対策のため。不特定多数の市民が利用するトイレ手洗い場の蛇口を非接触型にすることにより、感染リスクの軽減と市民の安全安心を確保する。	苫小牧市庁舎	市庁舎内トイレの手洗い場の蛇口を非接触型自動水栓へ変更した。 対象場所：市庁舎内の手洗い場71箇所	不特定多数の市民が利用するトイレ手洗い場の蛇口を非接触型にすることにより、新型コロナウイルスの感染リスクが軽減され、市民の安全安心を確保することができた。	R3.2	R4.3	2,530,000	1,690,000	○			総務課
6	高齢者施設等支援事業	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を継続している高齢者施設等に対し、感染症対策及び事業継続への支援として支援金を交付する。	市内の介護サービス事業所・障がい福祉サービス事業所・有料老人ホーム等	高齢者施設等431か所に一律20万円の支援金を支給した。	事業所への聞き取りから、事業所における衛生資材の購入経費等として活用されており、感染症対策及び事業継続に対する支援につなげることができた。	R3.2	R3.10	86,353,926	81,102,000	○	○	○	介護福祉課

No	①事業名	②事業概要（目的と効果）	③対象	④事業実績（経費内訳）	⑤効果・検証	⑥事業 始期	⑦事業 終期	⑧事業費 （円）	⑨ うち交付金 （円）	⑩3つの重点軸			⑪ 担当課
										感染 拡大 防止	地域 経済 対策	健や かな 日常	
7	福祉ふれあいセンター網戸整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、福祉ふれあいセンターの網戸を設置することで、感染症対策に必要な天然換気機会を確保する。	福祉ふれあいセンター	福祉ふれあいセンターに計21ヶ所網戸を設置した。	網戸設置により外気を取込み換気できたため、施設利用者及び従事者の感染拡大防止に資することができた。	R3.2	R4.3	359,700	275,600	○			障がい福祉課
8	フェリー事業者感染防止対策等支援事業	新型コロナウイルス感染症による移動自粛に伴う旅客の減少により、事業経営に影響を受けている苫小牧港発着の定期フェリーを運航している事業者に対して、感染防止対策や利用促進に繋がる取組を支援し、北海道と本州を繋ぐインフラの維持確保を図ることを目的とする。	苫小牧港を発着する航路に就航するフェリー事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎近海汽船(株) 2,490,586円</li> <li>商船三井フェリー(株) 2,500,000円</li> <li>新日本海フェリー(株) 2,500,000円</li> <li>太平洋フェリー(株) 2,500,000円</li> </ul>	感染症対策の徹底を行ったことで、乗客の安全安心なサービスの提供に繋がった。また、回復期フェーズの需要喚起に備え、利用促進のPR等に関連する事業に要する経費を補助し、苫小牧港の魅力等を発信しながら、旅客の集客に向けた様々な取組を行うことで、利用促進に繋がった。	R3.2	R4.3	9,990,586	6,800,000	○	○		港湾・企業振興課
9	事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不急不急の外出・移動の自粛により影響を受け、売上が大幅に減少した市内の中小、小規模事業者のうち、前年同月比または前々年同月比で30%以上減少している事業者へ支援金を給付し、事業継続につながる支援を行う。	中小・小規模事業者	事業者に対して10万円の支援金を給付した。 支援金10万円×1,467件＝146,700千円	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不急不急の外出・移動の自粛により、影響を受けた事業者に対し、事業継続に繋がる支援を行うことが出来た。	R3.2	R4.3	146,974,737	60,405,737		○		緊急経済対策給付金室
10	イベント用感染防止対策備品整備事業	イベント開催時において、来場者及び従事者が安全に参加できるよう検温機器を購入し、感染拡大防止の体制を整える。また、必要に応じて庁内貸し出しも行う。	市が実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIサーマルカメラ式×6台</li> <li>非接触型体温計×20台</li> </ul>	イベント開催時に検温機器を設置して、来場者及び従事者が安全に参加できる体制を整えることができた。また、庁内のイベント等にも貸し出すことにより、当課以外のイベント等の安全な体制を整えることができた。	R3.2	R4.3	4,238,795	2,521,831	○			観光振興課
11	感染症患者対応資器材整備事業	救急搬送時における同乗者（家族等）の2次感染防止及び搬送後の救急車内消毒時間の短縮が図られ、早期に出勤体制を整えることが可能となる。	市が実施	感染症患者搬送のため、陰圧式・捕集（拡散防止）・除菌に対応したポータブルアインソレータを6台整備した。 令和3年5月14日より運用開始し令和3年度は83件令和4年度は、10月22日まで90件の使用実績があった。	管轄保健所と連携を取りCOVID-19陽性者の搬送にアインソレータを使用することにより感染拡大防止を図ることができた。また、同乗する家族の2次感染を防ぐことが可能となった。	R3.2	R4.3	11,470,800	7,694,800	○			消防本部総務課
12	学校給食新型コロナウイルス対策事業	学校給食の各学級における配膳時にトレーを使わせ、配膳時における児童生徒等の密集・密接を避ける。また、非常食を備蓄し、共同調理場職員等が新型コロナウイルスに感染した場合においても学校給食を継続できるようにする。	児童生徒等	<ol style="list-style-type: none"> <li>小学校トレイ 10,000枚 7,920,000円</li> <li>中学校脇取盆 310枚 1,005,950円</li> <li>消毒用アルコール・布巾 2,408,772円</li> <li>トルトご飯入りカレー 15,000食 5,346,000円</li> <li>トルトカレー・シチュー 各15,000食 3,531,600円</li> <li>非常食用食器 348,062円</li> </ol>	令和4年1月から給食で副菜が1品増えたが、トレイ・脇取盆を活用することにより配膳時の「密」を避けられるようになった。また、各学校に非常食を備えることができ、仮に調理場等で感染者が出たことにより調理ができなくなっても、給食を提供できるようになった。	R3.2	R4.3	20,560,384	12,036,384	○	○		給食共同調理場
13	スポーツ大会感染防止対策支援事業	市内で開催されるスポーツ大会が、安心・安全な形で行われるように、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る費用の一部を助成する。	市内スポーツ団体	市内のスポーツ団体に対して、感染予防対策のための消毒液、マスク、ビニールシートの購入費用等を支援した。（上限5万円） ※苫小牧市スポーツ協会加盟 36団体・非加盟 4団体が対象 助成団体 17団体／助成総額 619,051円	市内で大会を開催した17団体に対し、アルコールやマスク等、感染防止対策に係る費用の一部を助成し、各団体の安心・安全な大会運営につながった。	R3.4	R4.3	619,051	619,000	○	○		スポーツ都市推進課

No	①事業名	②事業概要（目的と効果）	③対象	④事業実績（経費内訳）	⑤効果・検証	⑥事業 始期	⑦事業 終期	⑧事業費 （円）	⑨ うち交付金 （円）	⑩3つの重点軸			⑪ 担当課
										感染 拡大 防止	地域 経済 対策	健や かな 日常	
14	テレワーク推進事業	新型コロナウイルス感染防止対策のほか、感染拡大時における事業継続を目的としてテレワークを推進するため、テレワーク用端末を購入する。	職員	職員がテレワークで使用する貸出し用のノートPCを購入した(40台)	感染防止対策のほか、感染拡大時における事業継続や多様な働き方の実現につながった。	R3.4	R4.3	4,680,500	4,000,000	○			行政監理室
15	指定管理施設管理維持体制持続化事業	指定管理者制度を導入している施設を開館するにあたり、感染予防対策に係る費用を支援する。	指定管理者	指定管理者に消毒液、アクリル板などの感染予防対策に要する物品を購入する経費を支給した。 補助施設数 54施設	感染予防対策の費用を支援したことにより、指定管理者の負担軽減が図られたほか、施設の安全安心な管理運営につながった。	R3.4	R4.3	14,755,665	13,200,000	○			行政監理室
16	新型コロナウイルス対策融資信用保証料補給事業	新型コロナウイルスによる影響を受け、市内主要金融機関からコロナ融資を受けた事業者のうち、北海道信用保証協会による保証を受けた中小・小規模事業者が負担した信用保証料を補給することにより、事業者の資金繰りを支援する。	中小・小規模事業者	事業者が支払った信用保証料のうち、最大10万円の補給を行った。 補給金 1,814,050円（19事業者）	国や道のゼロゼロ融資が始まった関係で、制度の利用者は想定より少なかったが、融資を利用した事業者に対し、負担軽減となる支援を行うことが出来た。	R3.4	R4.3	1,814,050	1,814,000		○		商業振興課
17	新型コロナウイルス感染拡大防止対策店舗改装費補助事業	市内の飲食サービス業、小売業、生活関連サービス業の店舗を対象に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を目的とした店舗改装等を補助することにより、クラスターの発生を未然に防止するとともに、市民の自粛ムードの解消と市内の感染者の発生を抑制し、店舗への客足の回復へつなげる。	市内の飲食サービス業、小売業、生活関連サービス業を営む事業者	事業者が負担した工事費の2/3、最大50万円で補助を行った。 補助金 48,811,000円（126店舗）	補助実施の1年後に営業継続報告を受けており、多くの事業者から「感染防止対策が出来て助かった」「換気が良くなってお客様から好評だった」等の声を聞いている。	R3.4	R4.3	48,828,000	40,892,000	○	○		商業振興課
18	プレミアム付商品券事業	コロナ禍で落ち込んだ地元消費の回復、拡大及び地域経済の活性化を目的として、市内の商店等で使用できるプレミアム付商品券を発行する。	市民（購入希望者）	購入希望者に購入上限冊数を定め、2種類の商品券を販売した。 一般商品券 1冊5,000円（プレミアム率20% 発行冊数101,748冊） 飲食店&地元応援チケット 1冊5,000円（プレミアム率60% 発行冊数102,498冊）	商品券使用額は約14億2千万円であり、市民向けアンケート調査による消費喚起効果は1.25倍であったことから、約17億8千万円が市内の商品券取扱店にて消費されたと推測され、一定の地域経済の活性化につながった。	R3.4	R4.3	533,916,032	472,377,000		○		緊急経済対策給付金室
19	雇用調整助成金等申請費用補助金	雇用調整助成金等の申請にかかる社会保険労務士への費用を補助することで、市内企業の雇用の維持を図る。	市内企業	市内企業の雇用調整助成金の申請に係る社会保険労務士等への費用を補助した。 申請件数 延べ180件	休業等を余儀なくされた市内事業者に対し、国の雇用調整助成金を周知し、また、北海道社会保険労務士会日胆支部に協力いただき、自ら申請手続きをすることが難しい事業者の助成金活用を支援することで、雇用の維持・事業活動の継続を図った。	R3.4	R4.3	18,226,294	12,400,000		○		工業雇用振興課
20	事業継続上下水道料金支援事業2021(第1弾)(水道事業会計・下水道事業会計繰出・補助)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う不要不急の外出・移動の自粛により影響を受けた市内の中小・小規模事業者のうち、前年同月比で売上が30%以上減少している事業者を、上下水道料金の減免により支援する。	中小・小規模事業者	当市の事業継続支援金の給付決定を受けた事業者に対して、2か月分の上下水道料金を減免した。 【水道】969件、8,469,029円 【下水】944件、12,166,848円	売上が減少した事業者の固定経費を支援することができた。また、産業経済部と連携して事業を実施することで、申請に係る事業者の負担を軽減することができた。	R3.4	R4.3	20,635,877	20,635,000		○		水道窓口課

No	①事業名	②事業概要（目的と効果）	③対象	④事業実績（経費内訳）	⑤効果・検証	⑥事業 始期	⑦事業 終期	⑧事業費 （円）	⑨ うち交付金 （円）	⑩3つの重点軸			⑪ 担当課
										感染 拡大 防止	地域 経済 対策	健や かな 日常	
21	事業継続支援 事業2021(第2 弾)	国の緊急事態宣言や本市の感染拡大警報の発出により人流が減少し、幅広く様々な業種業態への影響が生じることが懸念されることから、大幅に売上が減少した市内の中小・小規模事業者のうち、前年または前々年同月比で30%以上減少している事業者へ、緊急的に事業継続のための支援を行う。	中小・小規模事業者	事業者に対して10万円の支援金を給付した。 支援金10万円×1,612件＝161,200千円	国の緊急事態宣言や本市の感染拡大警報の発令により人流が減少し、様々な業種業態の影響を受けた事業者に対し、事業継続に繋がる支援を行うことが出来た。	R3.6	R4.3	161,419,969	38,293,000		○		緊急経済対 策給付金室
22	事業継続支援 事業2021(第3 弾)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う北海道の緊急事態宣言の発出や、不要不急の外出・移動の自粛により、幅広い業種業態へ影響が生じることが懸念されることから、大幅に売上が減少した市内の中小・小規模事業者のうち、前年または前々年同月比で30%以上減少している事業者へ緊急的に事業継続のための支援を行う。	中小・小規模事業者	事業者に対して10万円の支援金を給付した。 支援金10万円×1,729件＝172,900千円	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う北海道の緊急事態宣言の発令や、不要不急の外出・移動の自粛により、影響を受けている幅広い業種業態の事業者に対し、事業継続に繋がる支援を行うことが出来た。	R3.9	R4.3	173,173,930	110,124,000		○		緊急経済対 策給付金室
23	事業継続上下 水道料金支援 事業2021(第3 弾)(水道事業 会計・下水道事 業会計繰出・補 助)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国の緊急事態宣言の発出や、不要不急の外出・移動の自粛により市内の人流が減少し、飲食店や小売店、ホテルやタクシー業界など幅広く様々な業種業態への影響が生じることが懸念されることから、前年又は前々年比で売上が30%以上減少している事業者を、上下水道料金の減免により支援する。	中小・小規模事業者	当市の事業継続支援金の給付決定を受けた事業者に対して、2か月分の上下水道料金を減免した。 【水道】1,084件、9,107,306円 【下水】1,043件、12,679,814円	売上が減少した事業者の固定経費を支援することができた。また、産業経済部と連携して事業を実施することで、申請に係る事業者の負担を軽減することができた。	R3.9	R4.3	21,787,120	21,787,000		○		水道窓口課